

令和元年度第2回総合教育会議 会議録

1. 日時	令和元年2月20日(木) (午後1時30分から)
1. 場所	市来庁舎 2階庁議室
1. 出席者	田畑誠一市長 富永伸博委員・徳重涼子委員・福山 希委員 有村孝教育長 瀬川総務課長・北山政策課長・書記 川越総務課長補佐
1. 協議事項	・教育施策大綱(案)について ・令和2年度施政方針について
瀬川課長	只今から令和2年度第2回総合教育会議を開催します。 まず、市長がごあいさつ申し上げます。
田畑市長	皆さん、こんにちは。 令和元年度も、残すところ1月余りとなってまいりました。 この1年、有村教育長を中心に、教育委員の皆様方には本市教育行政全般にわたり、目配り、気配りを賜りましたことに対し、まずもって感謝申し上げます。 昨年11月に開催した本年度の第1回総合教育会議では、「冠岳小学校の今後のあり方について」御協議いただき、共通理解を図らせていただきました。 冠岳小学校は、児童数の現状を踏まえ、令和3年3月31日閉校するとし、これまで保護者や地域と協議を重ねてきております。 現在、冠岳地区まちづくり協議会において、閉校事業実行委員会の発足に向けて御協議いただいているところであります。 今後とも地域と連携を図りながら、閉校に向けて協議を進めてまいりたいと考えております。 さて、本日は、本年度2回目の総合教育会議になります。 協議事項は、「教育施策大綱(案)について」と「令和2年度施政方針について」の2件であります。 今回決定していただく教育施策大綱は、令和2年度から6年度までの5年間における本市の教育、学術及び文化振興に関する総合的な施策について、その目標や根本となる方針を定めたものであります。 作成に当たっては、いちき串木野市第2次総合計画、また、現在作成

	<p>中と伺っております第3期いちき串木野市教育振興基本計画案を踏まえ、地域の実情に応じた計画となるよう調製いたしました。</p> <p>また、令和2年度の本市の施政方針につきましては、昨日、予算案と合わせて記者発表したところであります。</p> <p>本日は、この2件につきまして、教育委員会の皆様と共通理解を図っておきたいということで、会議を開催する運びとなりました。</p> <p>御協議方をよろしくお願いいたします。</p>
瀬川課長	<p>協議に入ります。協議の進行を市長にお願いいたします。</p>
田畑市長	<p>それでは、会次第にしたがって会議を進めて参ります。</p> <p>まず、(1)教育施策大綱(案)についてを議題といたします。</p> <p>内容について事務局に説明いたさせます。</p>
瀬川課長	<p>(資料「いちき串木野市教育施策大綱(案)」により説明)</p> <p>・いちき串木野市教育施策大綱は、いちき串木野市総合教育会議において、教育基本法第17条第1項に規定する国の教育振興基本計画を参酌するとともに、いちき串木野市第2次総合計画及びいちき串木野市教育振興基本計画に基づき、地域の実情に応じ、教育、学術及び文化振興に関する総合的な施策について、その目標や根本となる方針を定めたものである。(関連図の説明)</p> <p>・いちき串木野市教育施策大綱は、「いちき串木野市第2次総合計画」及び「いちき串木野市教育振興基本計画」に則り、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や根本となる方針を定めたものである。計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とする。</p> <p>なお、具体的施策の展開については、「いちき串木野市教育振興基本計画」に基づき進めるものとする。</p> <p>[大綱の概要]</p> <p>I 第2次総合計画の「健康で文化的な生活を営める『元気で安心できるまちづくり』」で掲げた教育施策の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習の充実 2 学校教育の充実 3 社会教育の充実 4 地域文化の保存・継承 5 スポーツの充実 6 国際交流の充実

田畑市長

II 基本目標と施策の関連図

・10年後を見据えた教育の姿

《基本目標》ふるさとを愛し、夢と志をもち、心豊かでたくましい人づくり

・今後5年間に取り組む施策

《本市教育の取組における視点》

- 1 時代を超えて変わらない価値のあるものの尊重
- 2 社会の変化に対応し、夢や希望を実現する能力の育成
- 3 学校・家庭・地域・企業・大学等の積極的な連携・協働
- 4 郷土の教育的な伝統や風土の活用と未来への継承

《本市教育施策の方向性》

- I お互いの人格を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- II 未来を切り拓くための能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進
- III 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進
- IV 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進
- V 生涯を通して学び活躍できる環境づくりとスポーツ・文化の振興

皆さんからご質問はありませんか。

なければ、今後5年間の、本市の教育施策大綱として進めて参りますので、委員の皆様のご理解とご協力、ご指導をお願いします。

次に、「令和2年度施政方針について」を議題といたします。私から説明させていただきます。

(資料「令和2年度当初予算(案)の要点(報道資料)」により説明)

令和2年度一般会計当初予算 160億1,000万円

- ・前年度に比較し、12億7,700万円、7.4%減
- ・学校給食センター建替事業(11億2,000万円)、防災センター建設事業(4億8,000万円)、麓区画整理事業(2億7,000万円)等の普通建設事業費の減が主な要因

令和2年度一般会計当初予算の姿

- ・歳入の主なもの

国県支出金 31億1,578万円(前年度当初比 4億1,546万円 12.0%減)

市債 12億4,763万円(前年度当初比 5億9,618万円 32.3%減)

・歳出の主なもの

会計年度任用職員制度開始による人件費の増、物件費の減
普通建設事業費 14億8,350万円(前年度当初比 17億7,720万円 54.5%減)

令和2年度の主な重点事業

少子化対策・子育て支援及び教育環境の充実

- ・子育て支援センター開設準備経費・運営費
- ・子育て世代包括支援センター（母子保健型事業）開設準備経費・運営費
- ・公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業（3月補正）
- ・小学校ブロック塀改修事業
- ・学校給食センター調理・配送等業務委託

食のまち、観光交流の推進及び地場産業の振興

- ・ふるさと納税推進事業
- ・無料職業紹介所運営事業（いちき串木野ハローワーク）
- ・清泉女子大学連携協力事業
- ・SNS 魅力発信観光 PR 事業

安心・安全なまちづくり

- ・総合防災訓練実施事業
- ・防火水槽整備事業
- ・緊急浚渫推進事業
- ・浜西住宅建替事業（旧浜西住宅建替事業）

その他

- ・市来エネルギーセンター解体事業（総事業費 1億2千万円）
- ・鹿児島国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催経費
- ・庁舎改修事業（串木野－衛生設備等、市来－空調設備等）
- ・コンビニ収納対応システム改修事業

主な特定財源活用状況について

- ・合併特例債
- ・合併まちづくり基金
- ・石油貯蔵施設立地対策等交付金
- ・電源立地地域対策補助金
- ・原子力発電施設立地地域基盤整備支援事業交付金
- ・ふるさと寄附金基金

主な基金残高見込、市債の状況、特別会計予算状況について

<p>福田委員</p>	<p>以上で説明を終わりますが、皆さんからご質問はありませんか。</p> <p>ふるさと納税の状況と使いみちについて伺います。</p>
<p>田畑市長</p>	<p>ふるさと納税は、地方創生ということで2008年から始まりました。始まってから3年ほどは300万円程度でした。そこで、3,000万円ほど宣伝費をかけ、インターネットサイトの上位に掲載されるようになり、3億円ほどまで寄附金が伸び、30年度は17億円まで伸びました。その後、全国で過剰な返品競争が問題になり、規制が行われることから、駆け込みで寄附金が増え、令和元年度は減るのでは、と思いましたが、12億4,000万円ほどの寄附がありました。このうち3割は返礼品となりますから、本市の産業に4億円ほどの効果があることとなります。その他、送料などの経費を引くと、50%ほどは残ることとなります。本市にこれだけ寄附が集まるのは、本市においしいもの、いいものがあるからだと思えます。そして、これだけ続くのは、皆さんが心をこめて返礼していただいているからだと思えます。ですから非常に助かっています。</p>
<p>北山課長</p>	<p>使いみちは8頁に掲載してありますが、寄附をされる方が、この分野に使ってください、と希望に沿って活用することとしています。</p>
<p>田畑市長</p>	<p>ほかにありませんか。</p> <p>なければ、令和2年度の施政方針について、説明を終わります。次に、その他について、委員の皆さんからありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>(「ありません。」)</p>
<p>田畑市長</p>	<p>事務局からありますか。</p>
<p>瀬川課長</p>	<p>来年度の特認校生について、報告します。</p> <p>来年度から市が準備するスクールバスなどを利用する場合は、通学費の一部を負担するとしたところですが。</p> <p>このことから応募状況を注視していましたが、現在のところ、旭小7名、荒川小19名、冠岳小3名、川上小6名、計35名となり、今年度の40名から5名の減となりました。この35名の原籍校は、串小が25名、市来小5名、照小が5名です。</p> <p>なお、このうち2名の児童が転出する予定があると伺っていますので、人数が減ることになるかと思われます。</p> <p>また、例年行っていた特認校生の出発式は、入学式等に影響がある</p>

田畑市長	<p>との学校からの意見等があり、今年度から開催しないことになりましたのでご了承いただきたいと思います。</p> <p>ただ今説明がありましたが、これまでも言われてきましたが、負担の公平性から、保護者に負担をしていただくということで、事務局の説明会や、私も市政懇話会などで説明し、皆さんにご理解いただいたところです。出発式につきましても、ご了承いただきたいと思います。ほかにありませんか。</p>
委 員	<p>(「ありません。」)</p>
田畑市長	<p>なければ、以上で令和 2 年度第 2 回教育総合会議を終わります。</p> <p style="text-align: right;">(午後 2 時 35 分)</p>